

授業科目 NO. 807 助産学方法論Ⅳ (地域助産技術学)

Midwifery IV (Community Midwifery)

授業の形態： 講義
単位数（時間数）： 2単位（30時間）
開講年次・学期： 4年次・前期
必修・選択の別： 選択・助産師選択コース必修
キーワード： 地域、母子、助産師活動

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

地域で生活する母子とその家族が妊娠から産褥・育児期までを安全・安心・快適に過ごすために必要な知識及び助産師活動の具体的な方法を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 地域で生活する対象が妊娠から産褥・育児期までを安全・安心・快適に過ごすために必要な知識及び援助内容を理解できる。(②③)
- (2) 地域における助産師活動に必要な助産診断及び助産技術を展開できる。(②③)
- (3) 地域母子保健活動の現状と課題を理解し、助産師の役割について考察できる。(①②③④)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	
実習成績	
レポート	20%
授業態度	20%
小テスト	
口頭試問	
その他	60%
合計	100%

(特記事項) 課題 (事例展開・実践) 60%をルーブリック評価とする。

5 教育担当者

科目責任者： 三反崎 宏美

准 教授 山崎 智里 (母性看護学・助産学)
 講 師 三反崎 宏美 (母性看護学・助産学)
 助 教 林 智美 (母性看護学・助産学)
 助 手 大嶋 舞香 (母性看護学・助産学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、看護師・助産師として周産期医療機関における実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 町浦美智子 (編) : 助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会
- 2) 我部山キヨ子/藤井知行 : 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期、医学書院
- 3) 北川眞理子、内山和美 (編) : 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂
- 4) 平沢美恵子他 (監修) : 写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディアカ
- 5) 我部山キヨ子、安達 久美子 (編) : 基礎助産学[1] 助産学概論、医学書院
- 6) 国民衛生の動向、厚生労働統計協会

8 推薦参考書

- 1) 進純郎 (編) : 会陰保護技術—助産師必携、MC メディカ
- 2) 村上明美 (編) : DVD で学ぶ開業助産師の「わざ」 フリースタイル分娩介助、医歯薬出版
- 3) 進純郎 (著) : 分娩介助学、医学書院
- 4) 進純郎他 (著) : 正常分娩の助産術—トラブルへの対応と会陰裂傷縫合、医学書院
- 5) 我部山キヨ子、大石時子 (編) : アセスメント力を磨く 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版、医学書院
- 6) 荒木勤 (著) : 最新産科学 正常編、文光堂
- 7) 荒木勤 (著) : 最新産科学 異常編、文光堂

- 8) 公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020
- 9) 中井章人 (著) : 図説 CTG テキスト アドバンス-助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)® レベル III 更新必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 10) 中井章人 (著) : 図説 CTG テキスト-助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)® レベル III 認証 CTG 必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 11) 藤森敬也 (著) : 改訂 4 版 胎児心拍数モニタリング講座: 大事なサインを見逃さない!、メディカ出版
- 12) 我部山キヨ子 (編) : 助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 第 6 版、医学書院
- 13) わが国の母子保健 令和 3 年、母子衛生研究会

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要である。
- 2) 周産期の診断及び助産実践に必要な知識について、
 - ・公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 (https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2020.pdf)
 - ・エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2020 (https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf) にアクセスして、コンセンサスが得られた適正な標準的助産診断・管理法を理解し、ノートにまとめておくこと。
- 3) 助産技術については、助産学方法論 I～III のテキスト及び配布資料を熟読し、一つ一つの動作・手順の根拠を理解したうえで正確に行えるように資料及びノートにまとめておくこと。
- 4) 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課、2022 年最近の母子保健を取り巻く状況 (<https://www.jfpa.or.jp/boshi.pdf>) にアクセスし、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援についてノートにまとめておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) レポートについては、提出後に直接コメントし、フィードバックする。
- 2) 課題（事例展開・実践）に関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。

11 履修上の注意事項

- 1) 事前学修をしっかりとって授業に臨むこと。
- 2) 演習室使用時は実習衣着用のこと。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。ただし事前にメール連絡等することが望ましい。
三反崎 E-mail : mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

助産学方法論Ⅳ (地域助産技術学)

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月05日(金)	3	講義	助産師活動に必要な清潔操作1		母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	2	4月05日(金)	4	演習	助産師活動に必要な清潔操作2		母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	3	4月12日(金)	1	演習	助産師活動に必要なケア技術1(妊娠～分娩期)		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	4	4月12日(金)	2	演習	助産師活動に必要なケア技術2(妊娠～分娩期)		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	5	4月19日(金)	1	講義	地域における母子保健及び助産師活動1		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	6	4月19日(金)	2	講義	地域における母子保健及び助産師活動2	レポート	母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	7	4月19日(金)	3	講義	助産師が行う正常分娩急変時の対応1		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	8	5月10日(金)	1	演習	助産師が行う正常分娩急変時の対応2		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	9	5月10日(金)	2	演習	助産師活動に必要な清潔操作	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	10	5月10日(金)	3	演習	地域における助産師活動の展開 妊娠期～分娩期に求められる支援		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	11	5月10日(金)	4	講義	事例展開による助産診断と助産実践1		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	12	5月29日(水)	1	演習	事例展開による助産診断と助産実践2		母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	13	5月29日(水)	2	演習	地域における助産師活動の展開 妊娠期～育児期に求められる支援1	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	14	5月29日(水)	3	演習	地域における助産師活動の展開 妊娠期～育児期に求められる支援2	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手
前	15	5月29日(水)	4	演習	地域における助産師活動の展開 妊娠期～育児期に求められる支援3	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	三反崎講師,山崎准教授,林助教,大嶋助手